

あしたのあさひ

～PTアクションと校長室をつなぐ～

県立旭高等学校長 古谷康司

旭校生に幸せになってもらいたい

【グランドデザイン】

幸せは、誰かが与えてくれるものではありません。そこで、本校の学びを通して、自分はどんな人になれるかがわかりやすいグランドデザインをつくりました。

人間力の向上として「信頼される人」「実行できる人」「学び続ける人」を掲げていますが、これらは、旭高校の校訓「自主自律」、教育目標「人格の陶冶」「体力の養成」「学力の充実」に基づき、これまで築かれてきた伝統や校風から考え、今の旭校生が幸せな人生を送るためにも、特に目指して欲しい姿を示したものです。

【考える力の向上】

校長として、生徒の皆さんに「具体的に」「短く」「繰り返して」話をしてきました。校長3年目の今、校長の思いが多くの生徒にしみ込んできたと感じています。特に「考えて行動する」姿をよく見るようになり、成長を実感します。「考える力」が身につけてきた今だから「ひとつ上」の思いを託します。

【自分ができること、やらなければいけないこと】

これまでの校長の話は「〇〇してください」とお願いが多かったのですが、先に述べたとおり、自分の人生はお願いされて進むものではなく、自分で切り拓くものです。考えてみましょう。この先会社に就職したり、結婚したりしたとき、会社やパートナーに、自分のために「何をしてくれますか」と頼っていて幸せになれるでしょうか。自分ができること、やらなければいけないことや、会社や家庭に貢献してこそ輝き、認めてもらえ、幸せを感じることができます。高校時代は社会に出るための準備期間です。旭高校のためにどんな貢献ができますか。そして、どんな力を身につけて社会に貢献しますか。